



温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年6月16日

日本紙パルプ商事株式会社 様

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 平川 雅宏



1. 検証の対象及び目的

日本紙パルプ商事株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における排出量算定結果「2021年度排出量算定シート」（以下「算定報告書」という。）に記載の2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 温室効果ガス排出量

算定対象において使用された都市ガス、LPG、灯油、及び、事業者の車両が使用したガソリンに伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 温室効果ガス排出量

算定対象において電力の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

検証の目的は、算定方法^{※2}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2021 年度の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ 1	147
スコープ 2 ※3	1,362

NOTE:

※1：算定対象：以下の事業所、及び、事業者が所有する不動産

- ・事業所等：本社、関西支社、関西支社京都営業部、中部支社、九州支社、
北日本支社東北営業部、北日本支社北海道営業部、JP 配送センター、及び、
保養施設 2 カ所
- ・不動産：OVOL 日本橋ビル、日本橋日銀通りビル、大阪 JP ビル、京都中井ビル、及び、
その他 5 物件（計 9 物件の共用部分が対象）

※2：スコープ 1, 2 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(ver.2.5)」、及び、事業者が作成した「算定手順書」

※3：電力の排出係数：電気事業者別調整後排出係数を使用

以上